

科目名：発達心理学 (講義)(必修2単位)		担当教員 松田 侑子 担当形態：単独	使用テキスト：出版社名・テキスト名 なし
科目	教育の基礎的理解に関する科目	施行規則に定める科目区分又は事項等	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程
授業の到達目標及びテーマ： 幼稚園・保育園の幼児や子どもの心身の発達及び学習の過程について、事例を含めた演習形式を通して基礎的な知識を身に付け理解する。			
授業の概要： 幼稚園教諭、保育士を目指す学生が、幼児期、児童期の子どもたちの心身の発達過程を正しく理解し、適切に対処できるための基礎的理論、知識を習得させることを目的とする。また、実習で子どもたちと関わる際に必要な言葉かけ、援助の方法などについて、具体的な事例をもとに体験し身に付ける。			
回	項 目	内 容	
1	オリエンテーション・教育における発達理解の意義について	冒頭で授業概要の説明。発達理解が幼児期・児童期の子どもたちの教育において重要な意味を持つことを理解する。	
2	幼児期の発達過程	幼児期の発達の特徴について理解する。	
3	児童期の発達過程	児童期の発達の特徴について理解する。	
4	遊び社会性の発達	子どもの社会性の発達過程について実験調査等をもとに考える。	
5	アサーショントレーニング	対人関係のスキルの発達と援助のポイントについて、ロールプレイをもとに体験し、身に付ける。	
6	言語発達過程について	年齢ごとの言葉の発達過程と教育・保育の留意点について理解する。	
7	絵本の読み聞かせ	絵本の読み聞かせが幼児期の発達に及ぼす影響について理解する。	
8	認知発達論	乳幼児を対象にした実験、観察に基づく研究法や結果をもとにしたデータに基づきながら、認知発達・運動発達についての学びを深める。	
9	ピアジェの発達理論	ピアジェの発達理論について(実験、事例発表)理解する。	
10	ヴィゴツキーの発達理論	発達の最近接領域について(ピアジェの発達理論との比較)理解する。	
11	道徳判断の理論	子どもの道徳意識の発達過程について学ぶ。	
12	向社会的行動	向社会的行動の形成過程について学ぶ。	
13	子育て支援	少子高齢化の問題点と対策について学ぶ。	
14	児童虐待	育児ノイローゼ、子育て不安と子育て支援のあり方について学ぶ。	
15	学修の振り返り	これまでの学修を振り返り、グループ討議を行う。	
	期末試験		
参考書・参考資料：幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領 講義内容に関する文献をその都度紹介し、まとめを作成する。			
学生に対する評価方法： 期末試験(70%) レポート(20%) 受講態度(10%)で総合的に評価する。			